

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2024年12月20日

市川市長

団体名 おはなし大好き！市川の会
（団体番号 104 ）
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

2024年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	429,787円
(2) 補助対象経費総額	349,445円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	第5回いちかわおはなしフェスティバル
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 実施時期：令和6年8月10日(日) 実施場所：全日警ホール(全館使用) 内容：市川市や千葉県内で活動している人形劇サークル、パネルシアターサークル、わらべうたや読み聞かせなどの活動をしている団体や個人、和洋女子大こども発達学科の学生や敬愛短期大学のゼミ学生を招集し、主に市内の親子を対象に23の作品の上演と絵本のひろばやけんだまひろば、おもちゃのひろば等をフェスティバル形式で行った。また、プロの読み語り&アコーディオン公演も実施した。 参加人数：608人(午前の部303人、午後の部305人) ほぼ計画どおり。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・チラシ10,000枚を公民館、近隣の保育園や幼稚園、小学校、子育て支援施設に配布した。 ・子育てサークル等にチラシを手配りした。 ・公式LINEでの広報も毎月配信した。 ・SNSを使って、フェスティバルの告知をした。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・フェスティバルを毎回心待ちにしている親子も増え、定員を超える申し込みに対してはやむなく締切となったが市内の子どもやご家族が多数来場され、誰もが身近な場で芸術や文化に触れる楽しみや安心や希望を感じながら子育てをする時間や場を提供できた。 ・文化の広場では来場した子どもたちが自ら思い思いの形を切り貼りする創作壁面を楽しんでいた。 ・人形劇や語りなどの活動をしている人や団体がつながり互いに研鑽を深めることができた。 ・作り手が高齢化している課題に関しては、保育者を目指す和洋女子大や敬愛短大のゼミ学生さんたちが参入し創作紙芝居やパネルシアターが披露されフレッシュな感性に触れることができた。 ・また当日の場内では中学生を含めたボランティアさんが活躍し、イベントを作り支える楽しさを体感、次回も志願すると答えた方も多い。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・昨年度同様、混雑を緩和する目的もあり、二部制とした。午前は乳幼児～幼児向け、午後は幼児～小学校児童向けのプログラムを組み、年齢に合った作品を楽しめるよう配慮した。今回はプロで活動されている方にボランティア価格で出演をお願いし了承をいただけたため参加費を抑えることができ、プロ作品の予約申し込みは不要とし、入場時のリストバンドだけで観覧できるようにした。 ・今後の課題：人形劇の作り手不足は解消できていない。紙芝居やパネルシアターに比べて人形劇は人形製作や動かし方など技術面で難しさもあるが、より人間に近く、古来、人形浄瑠璃をはじめ日本の人形劇文化は表現手段としてとても優れている。その文化の火を絶やさないために、次回はプロ人形劇団の招聘を目指したい。・来年以降も市川のおはなしフェスティバルとして、定着、継続していけるよう実行委員会の体制を見直し、グループで分担してすすめていく。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

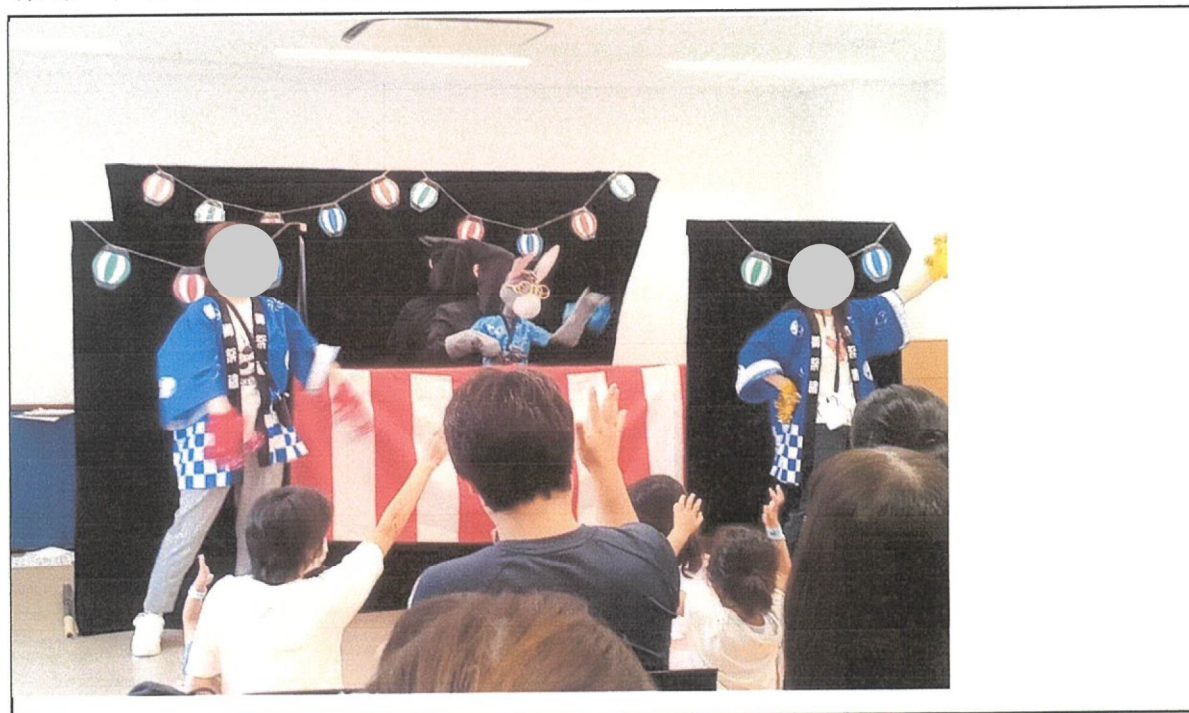
タ イ ト ル : 「第5回いちかわおはなしフェスティバル」

撮 影 年 月 日 : 2024年8月10日 「歌と遊びのパネルシアター」 (敬愛短大ゼミ学生)



タ イ ト ル : 「第5回いちかわおはなしフェスティバル」

撮 影 年 月 日 : 2024年8月10日 「きょうこと森のくまさん」 (人形劇団ロバ次郎)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 第5回いちかわおはなしフェスティバル

1【収 入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	243,400	参加費: AM(0才~幼児対象) 300円×303人=90,900円 PM(幼児~大人) 500円×305人=152,500円
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (協力金等)	30,600	出演者・スタッフからのカンパ等 300円×102人
会費充当	5,787	団体の本会計より充当
合 計	429,787	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	160,000	160,000	出演者謝金100,000円(交通費込み) 楽香3万円・まへる3万円・パネルジャム・にゃにゅによ・わたぐも・手風琴各1万円・会場装飾謝金10,000円(大下かる氏) チラシ、プログラム、報告書、リストバンド作成謝金50,000円(徳永理津子氏)
交通費	10,000		スタッフ駐車料金等 10台 1,000円×10台=10,000円
消耗品費	117,443	117,443	資料等用紙代、印刷機インク・マスター代29,480円、プリンターインク代23,423円、文具、会場看板、飾り付け用大判パネル、ペイント材料、靴袋・熱中症対策、消毒用品
印刷製本費	26,480	26,480	チラシ印刷代(10,000枚) 19,230円、プログラム印刷代(800枚) 3,190円、報告書(200枚) 2,040円、コピー代2,020円
通信運搬費	7,022	7,022	資料郵送代、チラシ送料等
保険料	19,600	19,600	イベント保険28円×700人
使用料及び賃借料	38,790		全日警ホール借料 減免額
原材料費	18,900	18,900	参加者リストバンド代金27円×700個
その他雑費	31,552		実行委員会経費、事前打ち合わせ経費、当日ボランティア関連経費
合 計	429,787	349,445	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年6月3日

市川市長

団体名 実践人市川読書会

(団体番号 107)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額 267,890

(2) 補助対象経費総額 228,820

(3) 補助金交付決定額 200,000

(4) 補助金交付概算払額 200,000



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	実践人市川読書会 講演会&上映会
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 淑徳大学教授・[REDACTED]による「二宮金次郎の生涯と私達が学ぶべきこと」の講演と「二宮金次郎」の上映会を開催した。講演会を通じて二宮金次郎の生き方を学び、その後の上映会であったのでストーリーがよくわかり、感動的であった。実施日：2024年4月20日(土)。場所：全日警ホール。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	(1) チラシの配布：6,000枚を配布した(主たる配布先は、市川市の施設・80ヶ所及び千葉市の施設・47ヶ所)。(2) 後援は、3カ所(市川市、成田山新勝寺、日本を美しくする会)から取得した。(3) マスメディアによる告知4カ所(市川市広報、ちいき新聞、読売新聞、致知出版社)を通じて行った。(4) いちかわ支え合いネットに掲載した。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 今回のイベントは、評判がよく、来年も同じ企画(二宮金次郎に学ぶ・その二)を実施したい。二宮金次郎の伝記は、一般的には幼年期のエピソードが主流で、全生涯については、あまり知られていない。今回の講演及び上映会を通じて全体像を把握してもらえたと思う。参加人数102人のうち、市川市民は21人であった。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 参加者のコメントを聴取すると、二宮金次郎の全体像がよく判って良かったとのコメントを頂いた。参加人数は、150人規模にまで持っていきたいので宣伝・PR活動を徹底したい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 「二宮金次郎に学ぶ」講演会&上映会

撮影 2024年4月20日 :



タイトル : 「二宮金次郎に学ぶ」講演会&上映会

撮影 2024年4月20日 :



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：実践人市川読書会 講演会&上映会

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	153,000	チケット販売収入（1,500円X102枚）
寄附金収入		
補助金収入	200,000	市川市市民活動団体事業補助金（概算払い）
その他 （助成金等）		
会費充当	480	
補助金返金	-85,590	概算払受領200,000円-実際の補助金収入114,410円
合 計	267,890	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	65,000	65,000	講師料（30,000円X2名）+司会（5,000円X1名）
交通費	200	0	駐車料金
消耗品費	17,713	17,713	封筒、用紙、プリンターインク等
印刷製本費	12,970	12,970	チラシ印刷、コピー代等
通信運搬費	23,137	23,137	チラシ配布用切手等郵便代
使用料及び賃借料	110,000	110000	映画使用料
使用料	14,660	0	全日警ホール（市川市の後援により使用料半額
反省打合せ費	19,210	0	参加者・15名
金次郎冊子	5000		
合 計	267,890	228,820	

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 3月 5日

市川市長

団体名 市川わんぱく広場実行委員会

(団体番号 111)

代表者名

所在地

令和6年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	308,036円
(2) 補助対象経費総額	204,300円
(3) 補助金交付決定額	102,150円
(4) 補助金交付概算払額	102,150円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	一日プレーパーク「わんぱく広場」
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 年間4回、3ヶ所の公園でのプレーパークを実施し、年間で参加想定としていた800人を上回る857人の参加がありました。また、小学生は2023年度では1、2年生が47.4%と半数近くを占めていましたが、2024年度では低学年(1,2年)36.7%、中学年(3,4年)41.8%、高学年(5,6年)21.1%と学年の高い子どもの参加が増えています。受付名簿でも子どもだけの参加が増え、子どもが自らの意志で参加したと推測されます。 また、小さなケガは各回2~3件報告がありましたが、緊急対応の必要な状況は年間を通じてありませんでした。 当日の準備や片付けに積極的に協力する参加者も増え、関わることに楽しさを感じた人が多かったと思われます。 出来なかった点としては、ボランティアは各回いましたが、継続的に関わったり実行委員会への参加には至らず、実行委員を広げることはできませんでした。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	会場近隣の小学校、幼稚園・保育園にチラシの配布依頼をし、毎回2000枚前後配布しました。 コミュニティ紙(行徳新聞)に掲載を依頼し、掲示板等にポスター掲示。 ネット関係は共催団体ホームページ等での告知をしました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 上記小学生の参加状況からも推測されるように、子どもが自らの意志、あるいは友だちと誘い合っでの参加が増えています。家庭環境に関わりなく、体験できる場所となりました。 また、学年の高い子どもの参加が増えることで異年齢で関わり合う場面が多く見られました。小さな子どもの保護者が我が子を見守りしながら高学年の子どもと交流することもあり、地域のコミュニティの広がりが感じられました。 専門家のプレーリーダーがいることで、ロープ遊びやたき火などいつもの公園と違う遊びをしていても地域の方から不安を告げられることなく実施できました。 安全面が担保されることで、参加者ではない地域の方も子どもの遊びへの理解が進んでいると思われます。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 夏休み時期は家族での旅行等に行ける子、行けない子の格差が見られる時期という認識で、「誰でも自由に参加できるプレーパークが必要」と実施していましたが、外遊びには不適な気温になることも多いため、次年度からは時期をずらして実施することとしました。 また、子どもの声を聴くことが社会的に求められるようになってきました。プレーパークは子どもたちの居場所として、子どもの声を積極的に聴く必要があります。これまでは遊びの中でつぶやきを聴くように務めていましたが、今後は「プレーパークのスタッフは子どもの話を聴けるよ」と子どもに伝える工夫をしていきたいと思います。 さらに、これまでは参加者の「たのしかった」「次はいつ?」などの言葉から成果を感じていましたが、今後はアンケートなどを取り入れ成果の見える化を図っていきます。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 思い思いの遊び

撮影年月日 : 令和6年4月28日



タイトル : 技に期待

撮影年月日 : 令和6年8月25日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：一日プレーパーク 「わんぱく広場」

1【収 入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	64,210	参加者カンパ 25310 個人寄付 38900
補助金収入	102,150	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	141,676	団体の本会計より充当
合 計	308036	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	66,000	66,000	外部講師等の招へい あり なし
交通費	20,520	19,900	運搬車駐車料金1500 スタッフ交通費19020
消耗品費	52,076	52,000	インク、チラシ配布用袋、麦茶、塩飴他
印刷製本費	3,880	3,000	ポスターコピー他
通信運搬費	0	0	
保険料	22,400	22,400	行事保険 800人
使用料及び賃借料	16,000	16,000	市川子どもの外遊びの会より用具レンタル
原材料費	25,160	25,000	シャボン玉材料7389 ダンボール工作11900 革細工2979 たき火2892
スタッフ費	102,000		スタッフ謝金、運搬謝金
合 計	308,036	204,300	

※ 領収書(原本)を添付してください。

ぬ

様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年11月18日

市川市長

団体名 ふくろう画廊

(団体番号 113)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額 508,708円

(2) 補助対象経費総額 357,500円

(3) 補助金交付決定額 178,750円

(4) 補助金交付概算払額 178,750円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	生涯学習センター開館30周年記念企画 いちかわのほほん古本市
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 まず、集客については前年実績2,000人を上回り、当日は台風と大雨の荒天に加えて市民まつりも同日開催であったが3,500人となった。 また、会場内のミニイベントとして「推し本語り」、「コラージュ川柳」をこども図書館絨毯コーナーにて展開し、本事業の対象とする2世代のこどもや幼児、子育て世代の親子の参加もあり、事業目的は十分に果たせたと実感している。 一方、メインとなる一箱古本市では16店主のうち11店主が市内在住者であり、7割近くを市民による出店とできたことは当イベントが少しは認知されていると感じている。 しかし、協賛は相変わらず受けることができず、事業決定の4月からスタッフ総出で協賛営業に当たるもかなわなかった。また、年度初め、市民まつり開催は11月3日と聞いていたのが、突然、本イベントと同日の2日開催となり、市内の飲食などの事業者はその殆どが市民まつりへの出店となり、飲食や雑貨の出店者集めにも苦労した。協賛についても同様であった。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・メディアパーク30祭 特別チラシ作成 市内図書館、公共施設にて配布 ・イベント告知チラシ 本庁管内自治体配布、市内図書館、公共施設、各イベント会場にて配布 ・イベント出店案内 本庁管内自治体配布、市内図書館、公共施設、各イベント会場にて配布 ・SNS専用アカウントにて随時告知及び案内 ・専用HPにて随時告知 ・図書館HPにてイベント開催、出店案内掲載 ・広報いちかわ 7/6日号 10/19日号 掲載 ・環境フェア（コルトンプラザ）にて開催チラシ配布
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・本イベントは令和5年度より実施したのだが、当初は2世代やこどもたちはゲームや通塾、動画閲覧などでほとんど本を読まないという認識であったが、意外と本を読まないのは三十代、四十代のいわゆる働き盛りの層でも多いことが経験実感としてあった。また、読書グセのないこどもたちでも、当団体が毎月一回実施している「推し本語り」へ参加することで本をよく読むようになり、また、図書館利用カードを新しく作るなどの動きが見られた。加えて「コラージュ川柳」という新聞の切り抜きで作る川柳はこどもたちにとっては単なる言葉遊びを超え、世代の異なる人たちの温かな交流の場とできたと実感している。 ・当日は市民まつり、卒寿などの市内のイベントも多数あったのだが、[]さん、[]さん、[]さん、[]さん、[]さん、[]さんなどの視察をいただき当事業に対してのさらなる期待と理解をいただけた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・今回こども図書館の絨毯コーナーを利用して館内でのミニイベントを実施したのだが、こどもを預かってくれと言ってそのまま置いていってしまう保護者が散見された。いわゆる託児所代わりとして使われたのだが、このことを隣のこども館へ伝えたのだが、「保護者の同伴していないこどもを預かれない」と断られ、結局、われわれ実行委員会の方で面倒を見ることになった。これはある意味で違う課題を把握したとも言える。この件についてはこども部[]さんと共有し、善後策を話し合っている。 ・本事業を継続していくためには団体からの持ち出しが毎回あり、そこを協賛で補えるようにすべくさらなる認知の拡大が必要と思われる。そのことを生涯学習部[]さんへ相談したところ、年二回、春と秋の開催としてはどうかというアドバイスを頂き、ニコットを使えるように調整をいただいた。なので今後は年度で言うところ11月と3月（暦年だと3月と11月）の二回開催とし、春と秋の開催では少し趣を変えて、間口をさらに広くして参加者を募り、参加者の口コミ、あるいはSNSなどでの広報も期待している。併せて、一箱古本市初心者（七十代が多い）へ向けて団体として、「はじめての一箱古本市出店ワークショップ」などの開催も見当している。 ・本事業を継続していくために今まで任意団体として活動を行ってきたが、2024年8月に特定非営利活動法人として法人成りをし、本事業を含め、NPO法人として多角的にこどもたちの居場所づくり、国語力の向上を含め、別室登校児、不登校児を支援できるよう、文教都市市川の一員として来年度へ向けて活動に弾みをつけたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 館内ミニイベント 推し本語りの様子

撮影年月日 : 2024年11月2日



タイトル : 生涯学習センターエントランスロビー 一箱古本市の様子

撮影年月日 : 2024年11月2日





市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：生涯学習センター開館30周年記念企画 いちかわのほほん古本市

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	80,000	出店料（一箱古本市①1,500x16店主+キッチンカー⑥6,000+飲食・雑貨⑤5,000×10店）
寄附金収入	0	
補助金収入	178,750	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	0	
会費充当	249,958	団体の本会計より充当
合 計	508,708	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	55,000	50,000	当日運営ディレクター1名 ※補助対象金額50,000円
交通費	0	0	
消耗品費	83,670	83,000	明細別紙添付 /
印刷製本費	98,538	70,000	明細添付別紙
通信運搬費	16,500	16,500	明細添付別紙
保険料	28,000	28,000	明細添付別紙
使用料及び賃借料	110,000	110,000	明細添付別紙
原材料費	0		
専用HP運用	77,000		制作費（デザイン・更新費用 50,000）・サーバー費 15,000 ドメイン使用料 5,000
スタッフ昼食費	10,000		昼食①1,000円×10名
会議費	30,000		スタッフ打ち合わせ軽食・飲料など
合 計	508,708	357,500	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

7年 1月 14 日

市川市長

団 体 名 中津攸子の文学展望の会
(団体番号 114)
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	177,886円
(2) 補助対象経費総額	88,760円
(3) 補助金交付決定額	47,500円
(4) 補助金交付概算払額	47,500円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	第3回中津攸子の歴史講演会【徳川家康】
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 前回の講演会では、歴史の話の中の具体的な地図や、年表、登場人物の紹介などが無く平板でわかりにくかったという反省を踏まえて、今回はプロジェクターも利用して参加者に目にも訴えかけられるよう工夫し、好評であった。 できればもっと若い方々にも間口を広げて参加していただくべく、次回は手児奈太鼓の演奏も一緒に披露してもらい多くの市民に先生のこと、また地元の手児奈伝説にも関心を持っていただきたいと思う。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	まず市川市広報、いちかわ読売新聞、朝日新聞、産経新聞、地域新聞などに講演会内容を掲載してもらう。 過去に講演会に参加の方々や、中津先生の知り合い、古事記の会や二宮金次郎講演会参加の方々などに案内のはがきを郵送する。 チラシを千葉市の公民館に郵送、近隣の船橋市内の公民館に設置してもらう。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	今回は徳川家康についての講演であったが、彼が恒久的な民の安寧を願い成してきたことの詳細を伝え、市川の葛飾八幡宮や徳願寺などこの地に住む市民にも身近なものと感じられたのではないかと。 多くの市民にとって市川は東京に近いベッドタウンの印象が大きく、ありがちかもしれないが、家康の未来を見据えた壮大な計画を知り、密接に現在の私たちの身の回りにも関係している実感がえられることは、この地に愛着を持つようになる端緒としたい。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 比較的年配の方々の参加が多かったが、できればもっと年齢層を広げたく、次回は万葉の時代から当地で歌われ数々の文人たちからも慕われてきた「真間の手児奈」の講演し、同時に【手児奈太鼓】の演奏も実施してより多くの市民に参加していただきたいと思う。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル 中津先生講演

撮影年月日：令和6年5月18日



タイトル：中津先生講演会の聴衆

撮影年月日：令和6年5月18日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 第3回中津攸子の歴史講演会【徳川家康】

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	114,000	チケット販売収入 1,000円×114枚
寄附金収入		
補助金収入	47,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	19,506	団体の本会計より充当
補助金返金	▲ 3,120	
合 計	177,886	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	100,000	50,000	講師謝礼 XXXXXXXXXX *補助対象は50,000円
交通費			
消耗品費	15,114	15,000	カラー用紙965、名札2,326、白コピー用紙1,740、インク6,908、他3,175
印刷製本費	12,030	10,000	チラシ印刷11,440（6500枚）、コピー代 590
通信運搬費	13,760	13,760	はがき10,710、スマートレター1,620、公共施設チラシ送付1,430
保険料			
使用料及び賃借料	9,190	0	全日警ホール使用料9,190（後援 使用料半額免除のため対象外）
原材料費			
その他 （助成金等）	27,792		広告（機関紙「新樹」）5,000、花代3,300、反省食事会15,892、書籍購入3,600
合 計	177,886	88,760	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2024年5月28日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人ケアラー健康協会
(団体番号 115)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	80270円
(2) 補助対象経費総額	79250円
(3) 補助金交付決定額	43000円
(4) 補助金交付概算払額	43000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	ケアラー健康セミナー（シニア世代向け）
補助決定事業の実施内容 （計画に照らした事業の実施結果を記載してください。）	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 【市川市におけるケアラー支援（高齢者向け）を行った】 京葉ガス柔道場をお借りして60歳以上の高齢者の方々に筋力トレーニングに関するセミナーと実際に運動を行っていただいた。本事業を無料で行わせていただく代わりに、アンケート調査を紙媒体で行った。当日は35名の高齢者の方々がご来場いただき、31名のアンケート回答を得た。アンケートの結果「本セミナーの内容は満足だったか」という点で87.1%がかなり満足・満足と回答いただいた。また、「今後、継続的に京葉ガス柔道場（または別の施設）で介護予防運動を実施することになれば、参加したいと思いますか」という点においては、96.8%の参加者が参加したい・内容によっては参加したいと回答しているので、今後も定期的を開催するという場合のニーズ確認ができた。
広報の実施状況 （市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。）	・地域商店へのチラシ掲示 ・提携店舗であるR&Fお客様への口頭誘導 ・市川市社会福祉協議会、市川市へ後援依頼→承諾 ・近隣福祉施設（障がい者施設、高齢者施設）へのメール配信 ・市川市の市民団体集会に出席し周知活動 ・イベント当日のチラシ配り
補助決定事業の成果 （課題をどのように解決することができたのかを記載してください。）	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 まず、地域高齢者に対して、実際に運動の機会を作ることができたことは、地域健康福祉の観点から一定の利益を得たと考える。また、今回集計した結果では高齢者の90%以上が定期的な運動機会を求めている。これは地域高齢者のニーズと本法人のシーズが一致していることを意味し、本法人が地域健康に対して必要であると感じるとともに、市川市政へ健康・運動の重要性を提言することのできる結果であったと考える。一方で、一度運動をしていただいただけでは健康にはなれない。継続的に運動をすることによって健康という恩恵を得ることができる。前述にもあるが今後は継続的な運営を目指して活動していく。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 （今後の方向性）	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ○市川市高齢者が運動機会を求めている 前述でもあるようにアンケート調査の結果96.8%の高齢者が定期的な運動機会を求めている。そもそも、本補助決定事業にご来場いただいた高齢者は、健康に興味がある方々である為、バイアスがかかっていると予想されるが、それでも一定のニーズはあると確信している。また、ニーズがあるにもかかわらず、定期的な運動の場所は多くないため、市川市運動難民が多くなっていると考え。そこで、本法人では京葉ガス柔道場やその他の施設を用いて定期的な運動機会や高齢者同士の交流の場を提供し市川市高齢者健康の一助を担うことをしたいと考えている。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 「集い」 1

撮影年月日: 2024年5月4日



タイトル : 「集い」 2

撮影年月日: 2024年8月31日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：ケアラー健康セミナー（シニア世代向け）

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	43000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	40645	団体の本会計より充当
補助金返金	△ 3375	
合 計	80270	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	50000	50000	外部講師等の招へい ☒ あり / なし 順天堂大学谷本道哉准教授セミナー講師報酬50000円
交通費	4020	3000	ボランティアスタッフ交通費4020円
消耗品費	0	0	
印刷製本費	13000	13000	セミナー告知チラシ単価65円×200枚
通信運搬費			
保険料	13250	13250	ボランティア傷害賠償保険 (東京海上日動：施設賠償責任保険)
使用料及び賃借料			
原材料費			
合 計	80270	79250	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年3月23日

市川市長

団体名 行徳郷土文化懇話会

(団体番号 116)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	212,419円
(2) 補助対象経費総額	97,424円
(3) 補助金交付決定額	59,185円
(4) 補助金交付概算払額	59,185円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	行徳の歴史の伝承と次世代への継承
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 三十三カ所巡りは例年通り行うことが出来たが、スタッフの高齢化、人員不足のため、募集人数を例年より少なくしなくてはなりません。お寺でのお参りには最適な人数だったかもしれないが応募してきた方の半分以上をお断りすることになったのは残念でした。 行文懇講座は2回行うことができました、特に2回目に行った講座では行徳に生まれた方と大人になってから行徳に越してきた方をお呼びして町の変化についてのお話を聞くことができました。会報には地域の方の寄稿をお願いする前に会員だけで内容の濃いものができたので、次号ではどうするかは議論の必要あり。研修会では市原市で同様の活動をしている団体との交流会を行いました。三十三カ所巡り（4月7日、14日、5月12日参加者のべ138名、7月21日東国札所巡り講演会 参加者26名、1月18日新旧住民座談会、研修会 参加者52名、2月21日もしおぐさ6号発行）
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	地域新聞、フェイスブックページやチラシの配布でイベント毎回たくさんの方に応募を頂いています。フェイスブックはメンバーの数は増えていないが見てくださっている方は多いようで反響があります。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 市民の皆さんが行徳という町を知るきっかけとなっていると感じます。4月7日、14日、5月12日に行った三十三カ所巡りでは参加の後、ほかのお寺も回ってみましたと講演会に参加してお話ししてくださり会報誌を購入したりと活動全体がつながってきた実感があります。また、会報誌を行徳以外の市川市住民に読んでもらうことで行徳に興味を持ったり、さらに行徳の町について学んでみたいという反響があります。三十三カ所巡りに参加してくださった皆さんはその後7月21日に行った東国札所巡りの講座に来てほかの札所巡理のことも学べてよかったですとの言葉をいただきました。また、もしおぐさを読んだ行徳に昔から住んでいる方たちが、そんなに町のことに興味があるのならと1月18日の新旧住民での行徳に関する座談、研修会に参加した下さいました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 会報誌を読んでいた市川市北部（江戸川放水路以北）の方や新しく行徳に住んだ方の中にはいまだに行徳が市川市という実感が無いとおっしゃる方がいてまだ市川市の一部であるという行徳の町やその歴史について市民に浸透していないことを感じています。第2回の講演会では行徳の新旧住民が行徳に対する想いや思い出について語り合いました。参加者が行徳という町を知り、それを継承し広めて行ったらそれは改善のきっかけとなるかもしれません。 地域の方からの聞き取り、研究、講演会の成果を会報誌を通じて行徳の歴史、文化を記録し、会報を図書館に置いてもらったり、市民の方に読んでもらうことにより継承していく事が使命であるのですが、いちさばの制度上印刷製本代への補助に制限があるので、今後は販売経路の開拓などを行っていかなくては会員だけの金銭的負担を強いることになってしまうと感じています。また、行徳文化ホールI&Iが改修工事のため使用できず、代わりに利用した行徳公民館では有料で講演会を行うことができず代わりに資料印刷代だけをいただくこととなり事業収入が減少しました、これは文化ホールでも有料イベントは利用料が割高となるので同様です、行徳地区には利用できる施設が少ないので今後の講演会開催での問題点となります。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル： 三十三カ所観音霊場巡り

撮影年月日： 2024年4月14日



タイトル： 行文懇講座 新旧住民交流

撮影年月日： 2025年1月18日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：行徳の歴史の伝承と次世代への継承

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	68,900	三十三カ所巡り参加費 37名X1500円=55,500円、行文懇講座（7/21）参加費 15名X300円=4,500円、行文懇講座（1/18）資料代39名X100円=3,900円 会報販売 500円X10冊=5,000円
寄附金収入	0	
補助金収入	59,185	市川市市民活動団体事業補助金
その他（助成金等）	0	
会費充当	94,807	団体の本会計より充当
補助金返金	▲ 10,473	
合 計	212,419	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	10,000	10,000	外部講師等の招へい ○あり／なし
交通費	14,484	14,484	三十三カ所巡り交通費補助
消耗品費	9,696	6,000	文具、USBメモリー、プリンターインク
印刷製本費	40,685	40,000	会報、イベントチラシ印刷代、コピー代
通信運搬費	18,934	18,920	会報、イベントチラシ郵送費用
保険料	3,600	3,000	三十三カ所巡り保険料（三日分）
使用料及び賃借料	5,020	5,020	行徳公民館使用料
原材料費			
寺社お礼	60,000		三十三カ所巡り寺社お布施
食糧費	50,000		三十三カ所巡り、芸文協式典、講演会後食費補助
合 計	212,419	97,424	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025 年 3 月 31 日

市川市長

団体名 いちかわみんなのほけんしつ実行委員会
(団体番号 117)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

2024 年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	657,903円
(2) 補助対象経費総額	411,203円
(3) 補助金交付決定額	242,638円
(4) 補助金交付概算払額	242,638円



市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

2025年3月31日

市川市長

団体名 いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

（団体番号 117 ）

代表者名

所在地

2024年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称 いちかわみんなのほけんしつ・暮らしの保健室
開催事業

2 変更の内容

- ① 事業計画で提出した賃借料の部分、ヨガ&カフェ Bres の開催回数が12回だったのが、9回でした。（67,320円→50,322円）
- ② 10月に開催予定だった講演会の場所の費用が掛かりませんでした。しかし、場所が山崎クリエイションセンターではなく橘 gallery（安国院）に変更になり、1回の使用料の変更があります。（25,084円→25,000円）
- ③ ワークショップ1回目の場所が変更になり、市川アイ・リンクセンターに

なりました。また、2-6 回目は橘 gallery に変更になりました。（場所代 75,252 円→72,230 円）

- ④ 宿泊型保健室の 2 回目の場所が 1 回目と同じ Villa Myoden に変更になりました。（場所代 101,000 円→66,000 円）

3 変更の理由

- ① ボランティアが集まらなかったため、開催頻度を減らしました。
- ② 多団体と協力して市川文化会館で開催し、他団体が場所代を支払ってくれたため。
- ③ 山崎クリエイションセンターが会社の事情で急に使えなくなる事がある事が分かり場所を変更しました。
- ④ まだ不慣れで 2 回目も同じ場所で行おうという事になりました。

(5) 実施報告

補助決定事業の名称	いちかわみんなのほけんしつ・暮らしの保健室開催事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 計画通りに出来たこととしては、①保健室を継続して行うことができました。 (木曜日わたしのほけんしつyo-ha-kuでの開催は49回実施予定でしたが、2回スタッフが集まらず行えませんでした。南行徳のヨガ&カフェbresでは12回開催予定でしたが、3回スタッフが集まらず行えませんでした。) スタッフのみの振り返りを各回終了後に30分ずつ実施しました。また、②ボランティアを含む市民向け対話の講習会を6回を実施しました。③4月に活動報告会と認知症予防についての講習会を実施しました。④10月の講演会は市川コミュニティ精神保健医療福祉会議(通称:市コミ)と合同で行い、市川市内のメンタルヘルスに関わる医療福祉事業所とあわせて当会の活動紹介を実施しました。⑤宿泊型のほけんしつを11月と2月に実施しました。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	上記①～④についてはFacebookおよび公式LINEにて開催日のお知らせをおこないました。また、行徳エリアの開催場所であるbresに開催日程を記載したチラシを置かせていただきました。②③についてはPeatixを利用して広報を行いました。②については、更に市内の公共施設に配架依頼をさせていただきチラシをおかせていただきました。⑤については昨年実施したアンケートにて関心があり、立ち上げに協力・参加したいという方向けにメールで連絡し、集まった方で打合せ等を重ねながら実施しました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ①は延べ223人の参加者がおられました。②は参加登録者は17名でボランティアが各回4名参加しました。(各回のボランティアを含む出席状況1回目21名、2回目18名、3回目16名、4回目14名、5回目13名、6回目14名)、③は23名の参加者がおられました。④は35名の参加者がおられました。⑤は1回目5名(内宿泊者3名)、2回目5名(内宿泊者5名)が参加しました。 参加者アンケートでは①はこの場所があって開催されていると知るだけでも安心できるという方や、良いアドバイスをもらえた、他の人の人生の悩みについての話が聞けて参考になった等のご意見が多くありました。②は最初は難しいと感じていた方も、最後の会には安心・安全な(傷ついたり・傷つけられたりしにくい)対話について体験し理解が深まったようでした。③では、認知症予防の方法やバウンダリーという考え方についてお伝えし、学びにつながったとご意見をいただきました。④についても市内の様々なメンタルヘルスに関する医療・福祉の事業所の存在や具体的な活動内容を知り良かったというご意見が多く聞かれました。⑤については、参加者が安心して過ごすための希望を確認しながら宿泊中の過ごし方を決め、当日を迎え、それぞれが他害を尊重し合いながら身近にできるリトリートのような時間を持てて良かったというご意見をいただきました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 安心安全に人といるための方法はそれぞれ異なっているが、「人を傷つけない」「人から傷つけられない」ということを気にしている人が多かった。こういったことに配慮した場を作り続けていくことはとても重要だと感じている。そういった配慮としては、会話や議論と違う、「対話」についての知識や体験が少なく、その必要性も周知されていない。来年度以降も、ボランティアを含む対話の言葉カードを使った安心・安全な対話を共に学ぶ会は継続したい。また、心の傷について理解して関わる方法で専門家でなくとも誰でも出来るものとして「トラウマインフォームドアプローチ」についての理解も深めていきたいと考えている。また、メンタルヘルスには多くの社会課題(例えば、孤独・孤立や虐待、ハラスメント、性暴力など)が背景にある事が多く、そういったことについての理解も活動報告会および講演会等を通して、深めていきたいと考えている。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 宿泊型保健室の朝食 薬全粥等

撮影年月日: 2025年2月16日



タイトル : 対話の言葉カードを用いた安心安全な対話を共に学ぶ会4日目

撮影年月日: 2024年11月10日



市川市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: いちかわみんなのほけんしつ・暮らしの保健室開催事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	188,000	講演会20人×2000円+1000円寄付×4 ワークショップ8人×1500円×6回 5人×2000円×6回 2人×1000円×6回
寄附金収入	155,100	合同会社ももこころより(わたしのほけんしつY0-HA-KUの場所代として)
補助金収入	242,638	市川市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	109,202	団体の本会計より充当
補助金返金	△ 37,037	
合 計	657,903	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	140,000	140,000	講演会講師料 20,000円 ワークショップ講師料 20,000円×6回
交通費	9,700	9,700	カフェbres駐車場代(中止、未開催の8月/2月、 会場の変更があった10月分を除いた9回分)
消耗品費	14,000	14,000	対話のこたばカード(3,500円×4)
印刷製本費	9,878	9,878	講演会、ワークショップチラシ700部(4,818 円) アンケート印刷代 5,060円
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料	379,652	224,552	《ほけんしつ》 カフェ&ヨガbres9回分(月1回土曜日) 50,322円 ソーシャルグッド(10月分) 11,000円 わたしのほけんしつY0-HA-KU(毎週木曜日) 155,100円 ※補助対象外 《講演会(4月)》 橋ギャラリー会場 25,000円 《宿泊型保健室(11月・2月)》 ソーシャルグッド 66,000円 《ワークショップ(6回)》 市川市アイ・リンクセンター 1,230円 橋ギャラリー会場 71,000円
原材料費			
食糧費	25,600	0	飲み物代(320名×80円)
その他の経費	79,073	13,073	イベント開催時Peatix使用料 13,073円 Peatix使用料清算内訳: 決算処理費用(販売実績の4.9%+充れたチ ケット1枚あたり99円) 講演会 2000円×20枚×4.9%=1960円 1000円×4枚×4.9%=196円 24枚×99円=2376円 ワークショップ 1500円×8枚×6回×4.9%=3528円 2000円×5枚×6回×4.9%=2940円 1000円×2枚×6回×4.9%=588円 15枚×99円=1485円 公式LINE利用料 66,000円(5,500円×12カ月) ※運営に係る経費のため補助対象外
合 計	657,903	411,203	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年3月11日

市川市長

団体名 オレンジスマイルいちかわ
実行委員会

(団体番号 118)

代表者名

所在地

2024年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	787,909円
(2) 補助対象経費総額	177,056円
(3) 補助金交付決定額	182,000円
(4) 補助金交付概算払額	182,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	オレンジスマイルいちかわ2024
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ①エントリーチーム、ボランティア説明会 2024年10月26日(土)14時 市川市勤労福祉センター本館3階大会議室 タスキリレー参加者とボランティアの説明会を同じ会場で開催し、事前に顔合わせを行い交流を図った。 ②タスキリレー&ゴールイベント 2023年11月17日(日) ・タスキリレー：市内3コース約30km 28チーム109人参加 ・ゴールイベント：10時～15時 会場ニッケコルトンプラザコルトン広場 イベント出店12団体、ステージ出演6団体 天候にも恵まれタスキリレー、ゴールイベント共にほぼ予定通り開催することができた。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・ホームページ、フェイスブック、X(ツイッター)、インスタグラムでの周知 ・市の公共施設、高齢者サポートセンター、デイサービス等へのチラシ・ポスター配架 ・タスキリレーコース沿い店舗でのポスター掲示 ・実行委員会と開催日当日の様子をインスタライブでPR ・JCOM「じもとトピックス」での放映
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 オレンジスマイルいちかわ2024はこれまでで最多の109名の方にタスキリレーに参加していただき、ゴール会場の出店、ステージ出演の団体も増え、多くの市民の方にお越しいただいた。 オレンジスマイルいちかわがタスキリレーとゴールイベントという2つで構成され、イベントの内容がややわかりずらいため、2024ではポスターをA3両面二つ折りで制作し趣旨やエントリー方法などを丁寧に説明した。 ポスターデザインは市川市で活躍するデザイン事務所に依頼、今年も障害者就労支援事業所の出店や生きづらさを抱える人たちにも資材運搬などで関わってもらうなど、市川で暮らす多様な人々が役割を持ち、参加の機会となるよう工夫した。本イベントが認知症の理解啓発だけではなく、市川市民の地域共生と健康への意識を高める一助となるよう、ゴール会場を飾る風船の色を認知症啓発のイメージカラーであるオレンジ色から、今年は白と水色もとりまぜPRした。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 今回で3回目の開催となり、これまでの経験を活かし、タスキリレー、ゴールイベントに携わるスタッフの人数や役割を最適化し、安全でスムーズな開催ができた。オレンジスマイルいちかわをオレスマという言葉で通じ合うなど、本イベントの存在が少しずつ知られるようになったと感じている。その一方で今のやり方ではタスキリレーコースやゴール会場の広さなど、タスキリレーの参加者、出店・出演団体数は上限に近づいている。 オレスマ当初から継続しているが、障害や生きづらさを抱える人たち(社会への一歩を踏み出したくてもできない人など)に参加と役割の機会を提供することも我々の役割である。 実行委員それぞれが本業を持ち携われる時間も限られた中、地域共生と健康意識を高めるイベントとして今後も市民に親しんでいただくために、試行錯誤を続けながら継続していきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : タスキリレー

撮影年月日 : 2024年11月17日



タイトル : ゴールイベント集合写真

撮影年月日 : 2024年11月17日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: オレンジスマイルいちかわ2024

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	317,340	エントリー費 286,340円 物品販売 15,000円 出店料 16,000円
寄附金収入	300,000	協賛企業 28社
補助金収入	182,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	82,041	団体の本会計より充当
補助金返金	-93,472	
合 計	787,909	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	15,000	15,000	出店・施術謝礼 5,000円×3名 ・鍼灸師・福祉ネイルサービス ・市川市リハビリテーション協議会
交通費	3,800	3,800	チラシ・ポスター配布・搬入
消耗品費	39,627	20,007	文房具代等(風船及び風船関連商品、コピー用紙、養生テープ、結束バンド、消毒関連商品他) 20,007円 補助対象外 19,620円(ゴム印製作費、景品代)
印刷製本費	84,649	80,589	ポスター 4,200部、コピー代(白黒、カラー) 80,589円 補助対象外 4,060円(名刺作成費、期間外コピー費)
通信運搬費	85,560	33,000	切手代、レターパック代 44,400円 資材送料 500円 補助対象外 40,660円 (ZOOM年会費、インターネット年会費、Tシャツ発送費、送料)
保険料	20,790	20,790	ボランティア行事保険
使用料及び賃借料	14,940	3,870	会議室使用料(参加者説明会) 3,870円 補助対象外 11,070円(実行委員 会議室使用料)
原材料費	0	0	
支払手数料	3,520		道路使用申請費用、振込手数料
その他の経費	520,023		業務委託費 (ポスター制作費用、Tシャツ製作費他)
合 計	787,909	177,056	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年2月28日

市川市長

団体名 市川ウインドオーケストラ

(団体番号 120)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	973,839円
(2) 補助対象経費総額	790,900円
(3) 補助金交付決定額	300,000円
(4) 補助金交付概算払額	300,000円



様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和7年 2月 28日

市川市長

団体名 市川ウインドオーケストラ

（団体番号120 ）

代表者名

所在地

令和 6年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

吹奏楽演奏会の開催による「心豊かで多様性のある社会の形成」推進事業

2 変更の内容

代表者名 から へ変更

3 変更の理由

婚姻により姓の変更があった為

(5) 実施報告

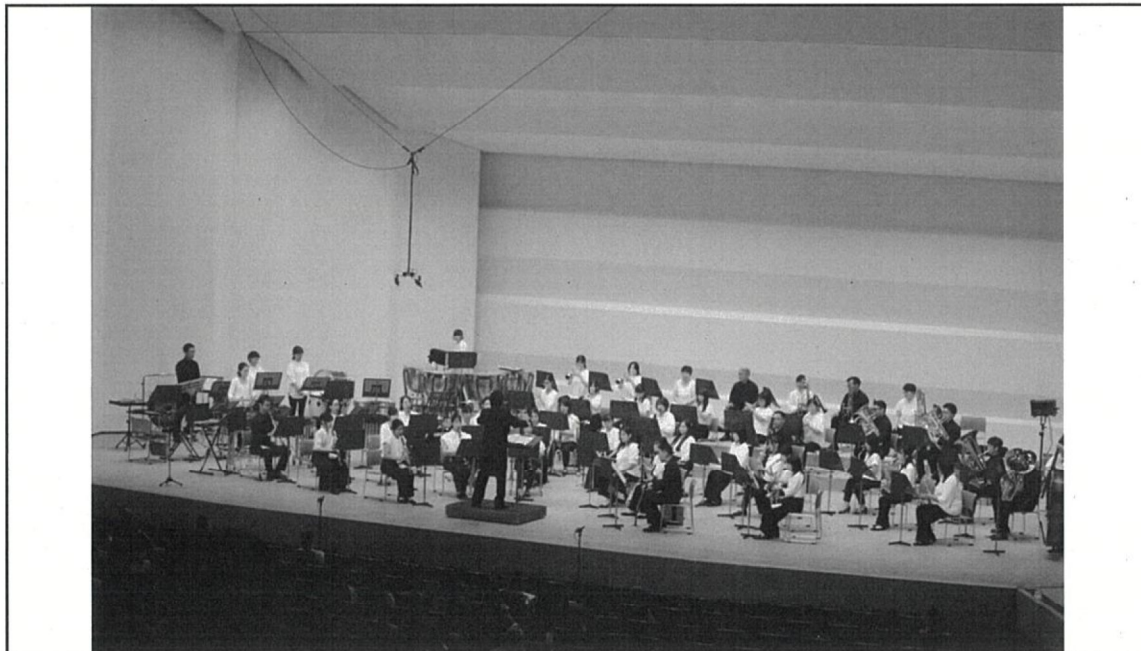
補助決定事業の名称	吹奏楽演奏会の開催による「心豊かで多様性のある社会の形成」推進事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 公演名①：市川ウインドオーケストラ 第7回定期演奏会 実施時期：2024年8月4日(日) 実施場所：市川市文化会館 大ホール 演奏曲目：星の王子さま／交響組曲「ハリーポッターと賢者の石」 ほか 参加人数：約750名(うち一般市民参加：約700名) 公演名②：市川ウインドオーケストラ ニューイヤーコンサート2025 実施時期：2025年1月5日(日) 実施場所：市川市文化会館 大ホール 演奏曲目：歌劇「トゥーランドット」より／東京ブギウギ ほか 参加人数：約800名(うち一般市民参加：約750名) おおむね計画どおりに実施でき、お客さまの数も回を重ねるごとに増えています。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・他団体の演奏会へのチラシ挟み込み(夏：7公演 冬：4公演) ・過去にご来場いただいたお客さまに案内状の郵送(夏：49通) ・過去にご来場いただいたお客さまにメールの配信(夏：174通 冬：174通) ・公共ホールや公民館等の公共施設へのポスターの掲示や配置(市川市、船橋市、浦安市、松戸市)(夏：1400部 冬：1300部) ・広報誌への掲載(広報いちかわ、地域新聞、ベイちばinfo、チイコミ) ・インターネット広報サイトへの掲載(コンサートスクエア、i-amabile、聴きこむ、askswinds、Eventbankプレス、オケ専) ・楽団SNSによる発信(X(旧Twitter)、ブログ、Instagram、facebook)
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 収容人数の多い市川市文化会館大ホールにおいて2回の演奏会を開催することができ、文化芸術活動の機会や、市川市民を中心とした近隣市区町村に在住・在勤・在学する方の音楽鑑賞の機会を増やすことができました。また、高校生や大学生等の団員も増え、学校における文化芸術活動の減少への対応にも寄与できたと考えられます。 団員数：40名(2024年1月)→50名(2025年2月) 集客数：約600名(2023年8月)→約700名(2024年8月)→約750名(2025年1月) お客さまアンケートにおいても、「久しぶりに演奏会に足を運べた」「次回も聴きたい」「また楽器を始めたくなった」「あたたかい雰囲気・サウンドの演奏会だった」等、高い評価をいただくことができました。また、「客席から自然に手拍子が始まって良い雰囲気だった」という声があったように、お客さまとも一体となって演奏会を開催できました。 今後も、吹奏楽演奏会の開催を通じて、誰でも文化芸術に触れることができる環境を充実させ、文化芸術をとおして相互理解を深め、多様な価値観を尊重する機会を提供することで、心豊かな社会の形成に貢献していく考えです。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 お客さまアンケートの回答を見たり、実際にお客さまから直接お話を伺う中で、ただ演奏を聴くだけでなく、お客さまご自身が参加できるような企画を実施することで、お客さまにも文化芸術により深く触れていただく機会を設ける必要性があると感じました。実施方法は団員の声も反映させながら今後検討を重ねたいと考えますが、たとえば、手拍子・体を使ったボディパーカッション・小型打楽器の配布・ペンライトの配布・お客さまの持っているスマートフォンを活用した光による演奏への参加・指揮者体験等が考えられます。 吹奏楽による演奏形態では、大人数で合奏する中で、各奏者がさまざまな役割を担っています。同じ楽器を演奏していても、自らが主張する場面だけでなく、他者を尊重する場面や他者と協調する場面があったりするなど、相互理解を深め、多様な価値観を尊重する機会が多くあります。お客さまに文化芸術により深く触れていただく機会を設けることは、相互理解や多様性の受容と尊重の大切さに気付くきっかけを作ることができると思います。 収容人数の大きいホールでの演奏会や公民館等におけるイベントなど、演奏形態に合わせて実施可能な方法が変わると思いますので、ご来場いただくより多くのお客さまに文化芸術に触れていただく方法を検討してまいります。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 市川ウインドオーケストラ 第7回定期演奏会 第1部

撮影年月日: 2024年8月4日(日)



タイトル : 市川ウインドオーケストラ ニューイヤーコンサート2025 第2部

撮影年月日: 2025年1月5日(日)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 吹奏楽演奏会の開催による「心豊かで多様性のある社会の形成」推進事業

1【収入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	300,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	0	
会費充当	673,839	団体の本会計より充当
合 計	973,839	

2【支出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	0	0	
交通費	1,467	0	他団体演奏会へのチラシ挟み込み交通費 (8月) 駐車場代200円×1 (1月) J R 東日本 本千葉→市川 506円×1 市川→新小岩 167円×1 新小岩→本千葉 594円×1
消耗品	7,048	0	(8月) チラシ送付用封筒220円、 ウエルカムボード作成330円 (1月) 軍手448円 アンケート回答用鉛筆5,170円 ウエルカムボード作成440円 演出用消耗品440円
印刷製本費	32,128	0	チラシ印刷 (8月) 8,614円、(1月) 8,931円 アンケート印刷 (8月) 2,685円、(1月) 2,969円 配付用プログラム印刷 (8月) 4,347円、(1月) 4,582円
通信運搬費	6,966	0	チラシ・案内状郵送代 (8月) 切手代84円×49枚=4,116円 切手代250円×5=1,250円 (1月) 切手代320円×5=1,600円
保険料	0	0	
使用及び賃借料	803,180	790,900	ホール施設利用料175,450×2回(8月、1月) 付帯設備利用料 (8月) 132,290円、(1月) 131,890円 楽器借用・運搬料 (8月) 93,500円、(1月) 94,600円
原材料費	123,050	0	楽譜代123,050円
合 計	973,839	790,900	

※ 領収書(原本)を添付してください。